

グラフで見る東海経済(2021年1月)

2021年1月28日

調査部 主任研究員 塚田 裕昭

今月の景気判断 ～新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい状況にあるが、持ち直している

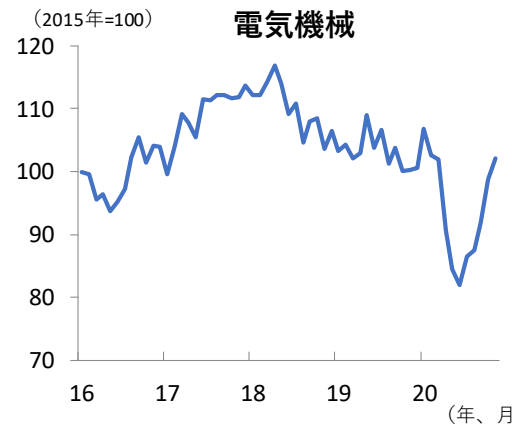
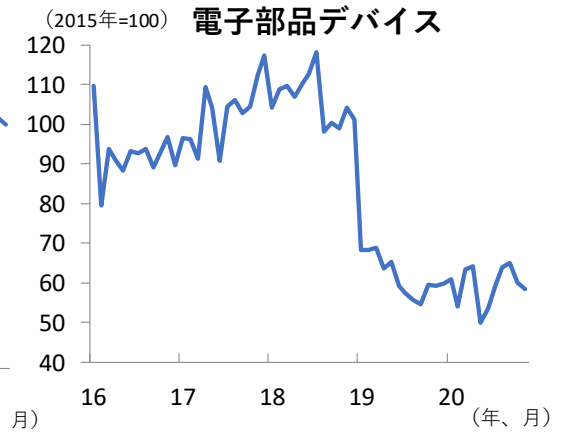
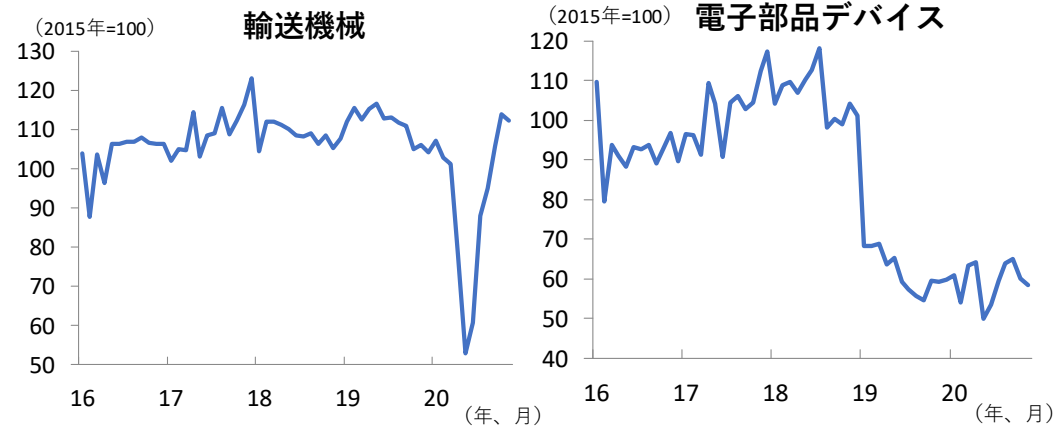
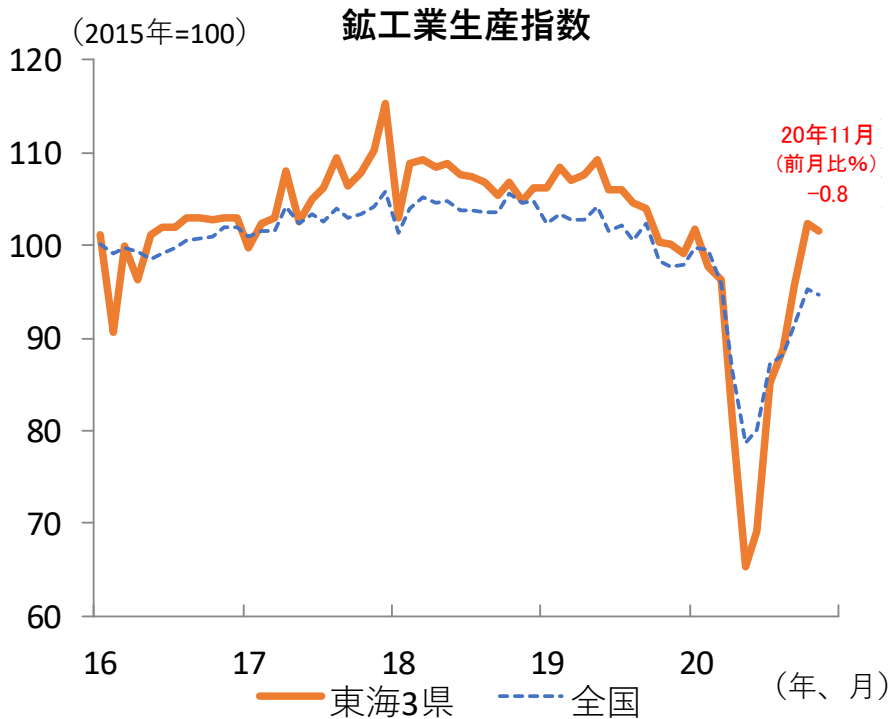
【今月のポイント】

- 新型コロナウイルス感染症の影響で、足下の指標は総じて厳しい水準にあるが、持ち直している。
- 生産は輸送機械の持ち直しもあって、鉱工業全体でも持ち直している。先行きについては輸送機械の生産水準の低下により足踏み状態となる見込み。
- 名目輸出(12月)は前年比で4ヶ月連続で増加。
- 賃金は、4月以降(6月を除いて)前年比で減少している。
- 個人消費は持ち直し基調で推移してきたが、緊急事態宣言再発令もあって悪化懸念が高まっている。

項目	現状
景気全般	新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい状況にあるが、持ち直している
生産	持ち直している
輸出	持ち直している
設備投資	弱含んでいる
雇用	弱い動きとなっている
賃金	減少している
個人消費	持ち直している
住宅投資	弱含んでいる
公共投資	横ばい圏で推移している

生産

鉱工業生産(東海)は持ち直しているが、11月は前月比-0.8%と6ヶ月ぶりに減少した。
電気機械、汎用・生産用・業務用機械などが増加する一方、輸送機械、電子部品デバイスが減少した。

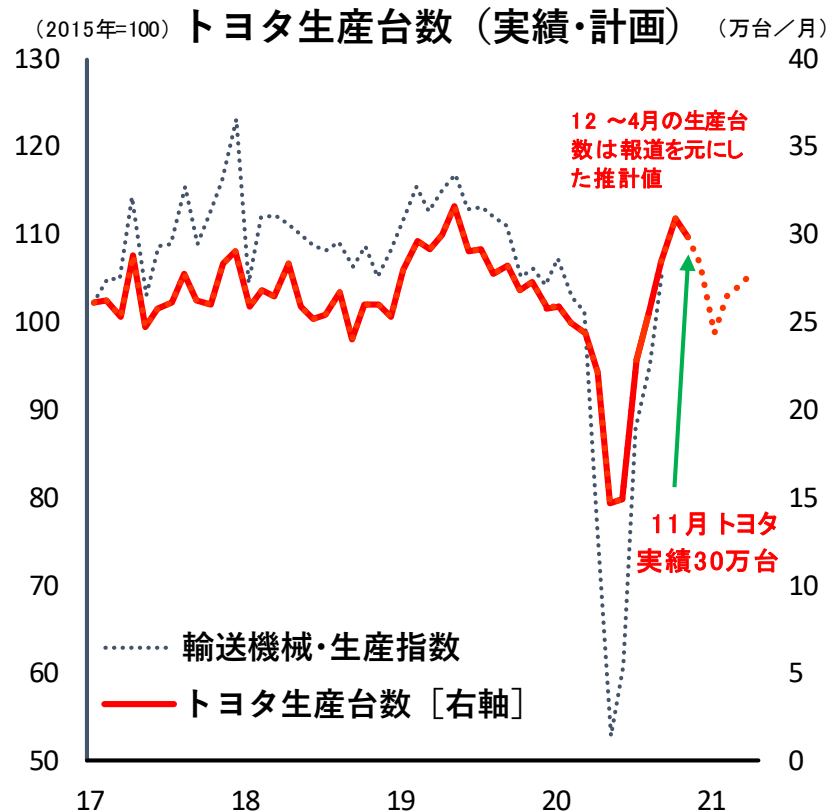


(出所)経済産業省「鉱工業生産動向」

生産（トヨタ生産計画、金属工作機械）

11月のトヨタ生産台数(弊社季節調整値)は30万台と前月から小幅減少した。年度内は10月をピークに生産水準を低下させるが底堅い推移が見込まれる。

11月の金属工作機械受注は、前年比+2.3%と25ヶ月ぶりに前年を上回った。国内向けは同-25.5%と減少が続いたが、海外向けが同+17.2%と大幅に増加した。アジア向け、北米向けが大幅増となった。



金属工作機械受注



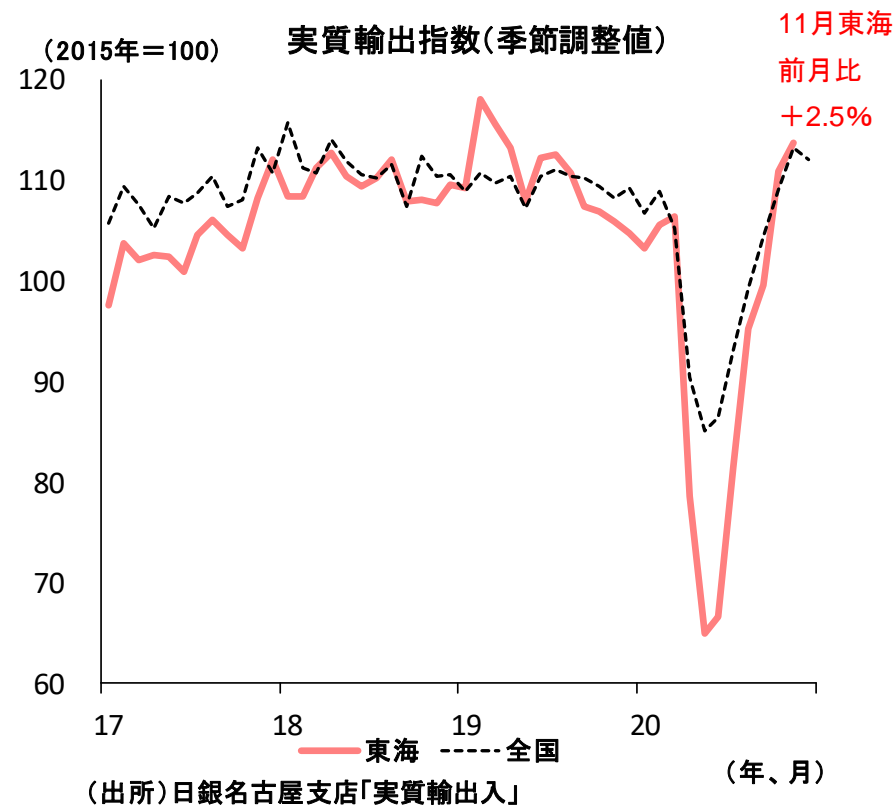
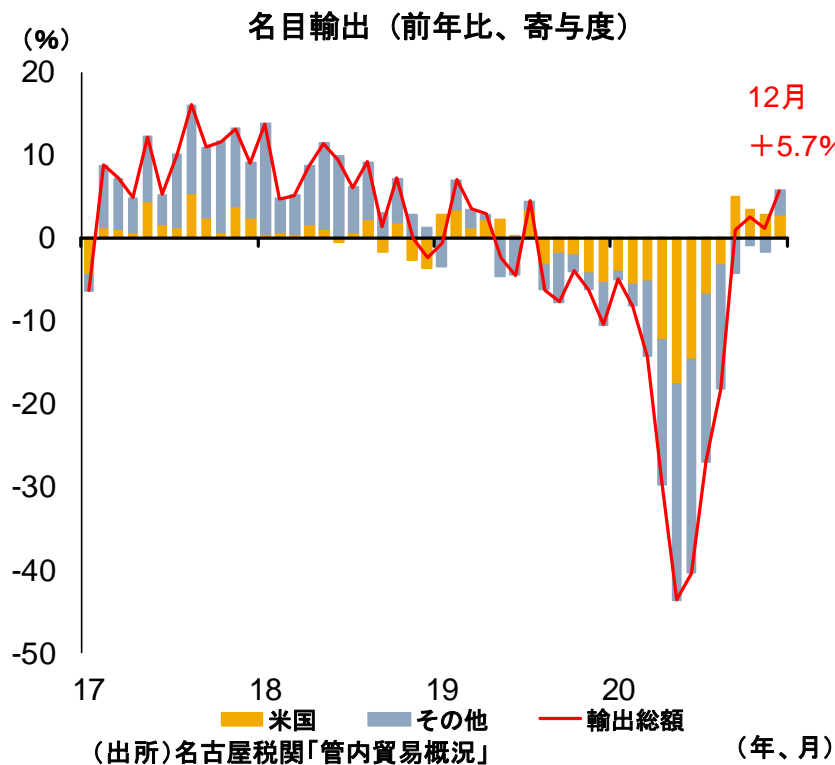
(注)トヨタ生産台数の季節調整は当社、輸送機械・生産指数は東海3県 (年、月)
(出所) 中部経済新聞、中部産業局「鋳工業生産指数」、鉄鋼新聞

(出所) 中部経済産業局「金属工作機械受注」

輸出

12月の名目輸出額は前年比+5.7%と4ヶ月連続で増加した。アジア向けが増加に転じ、北米向けが3ヶ月連続で増加した。業種別では、自動車(同+5.2%)が4ヶ月連続で増加した。

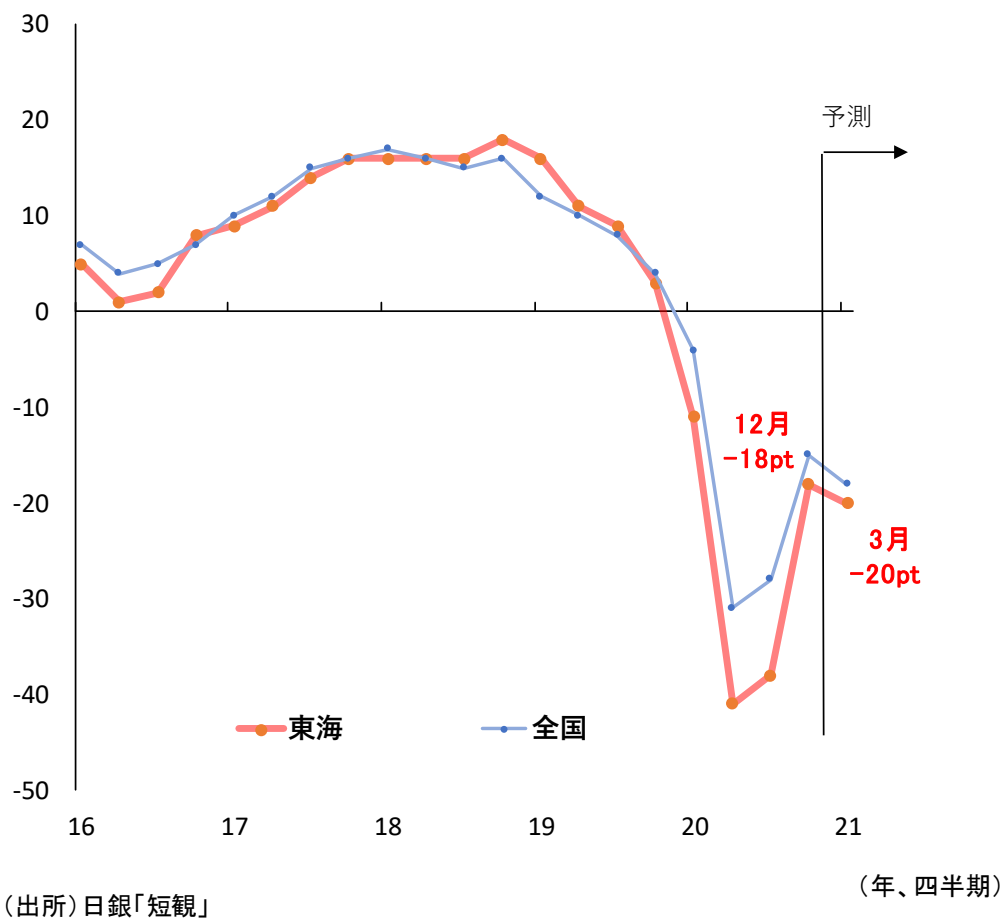
11月の実質輸出指数(季節調整値)は前月比+2.5%と6ヶ月連続で増加、前月に続きコロナ感染拡大前の水準を維持している。



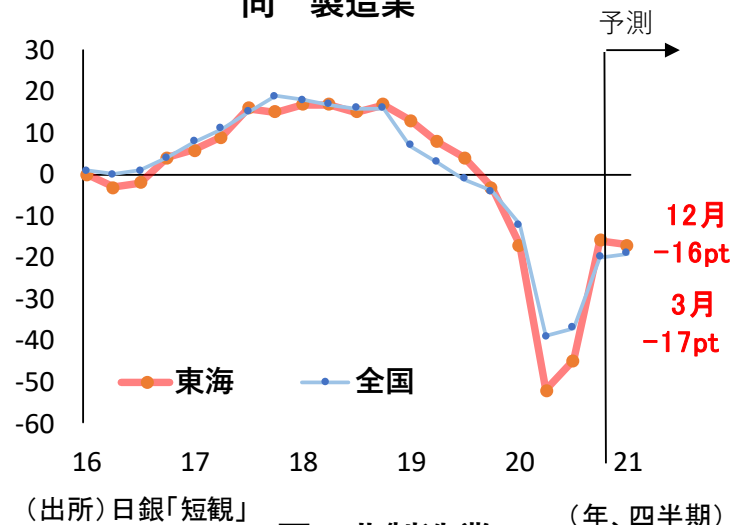
企業景況感(日銀短観) ※以下は12/14公表の12月調査。3月調査は4/1公表予定

日銀短観12月調査の業況判断DIIは全産業で-18ptと改善した。製造業は-16pt、非製造業が-19ptと改善した。先行きは、製造業、非製造業ともに小幅悪化が見込まれている。

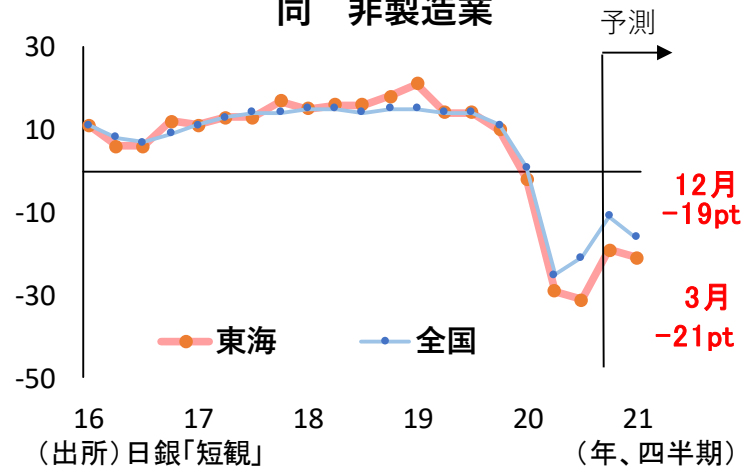
短観 業況判断DII「全産業」



同 製造業

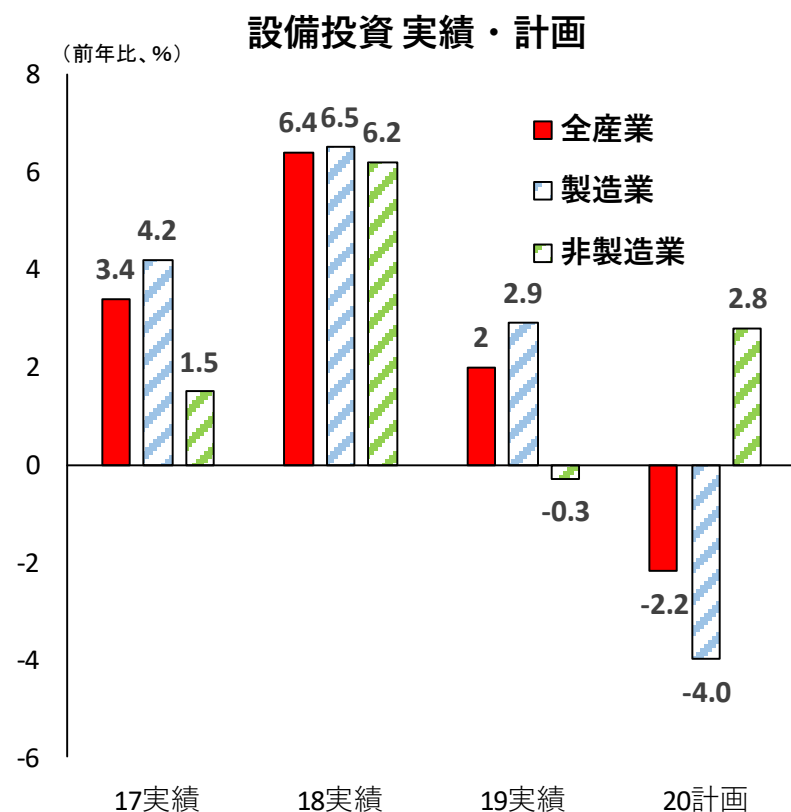


同 非製造業



設備投資 ※以下は12/14公表の12月調査。3月調査は4/1公表予定

日銀短観12月調査によると、20年度の設備投資計画は、非製造業が前年比+2.8%と下方修正ながら増加を見込む一方、製造業は同一-4.0%と下方修正かつ減少を見込む。不動産、小売が大幅増、非鉄金属、その他輸送用機械が大幅減の計画。全産業では同一-2.2%と9月調査から下方修正となった。



設備投資額 (前年比%)

	19年度 実績	20年度 計画		
		今回	9月調査時 [差異]	
全産業	2.0	-2.2	-1.3	-0.9
製造業	2.9	-4.0	-2.9	-1.1
非製造業	-0.3	2.8	3.4	-0.6

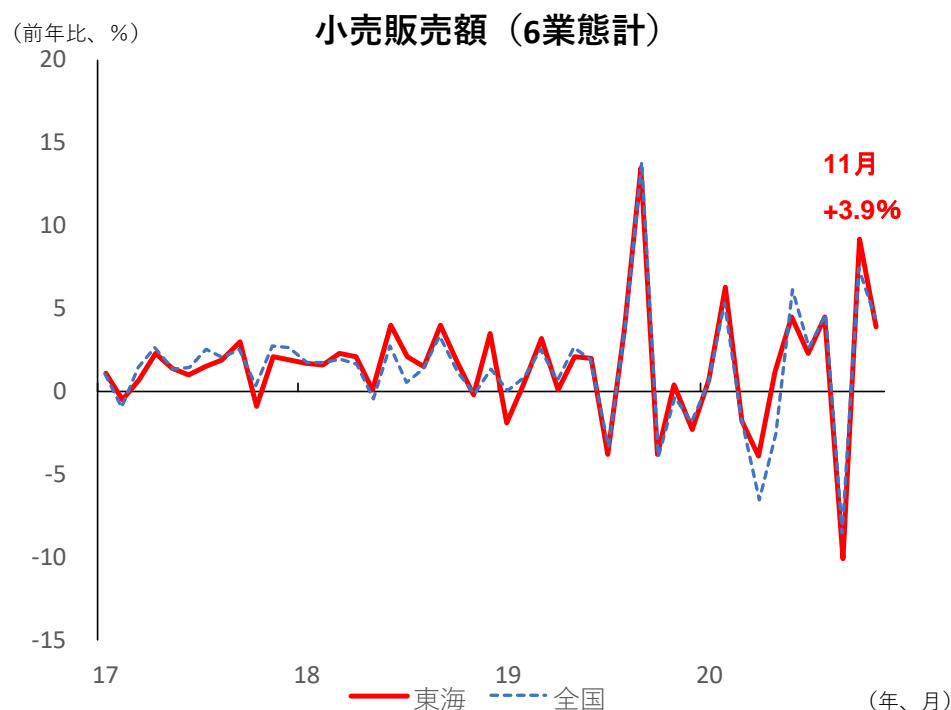
(出所)日銀名古屋支店「短観」

(年度)

個人消費(小売売上、自動車販売)

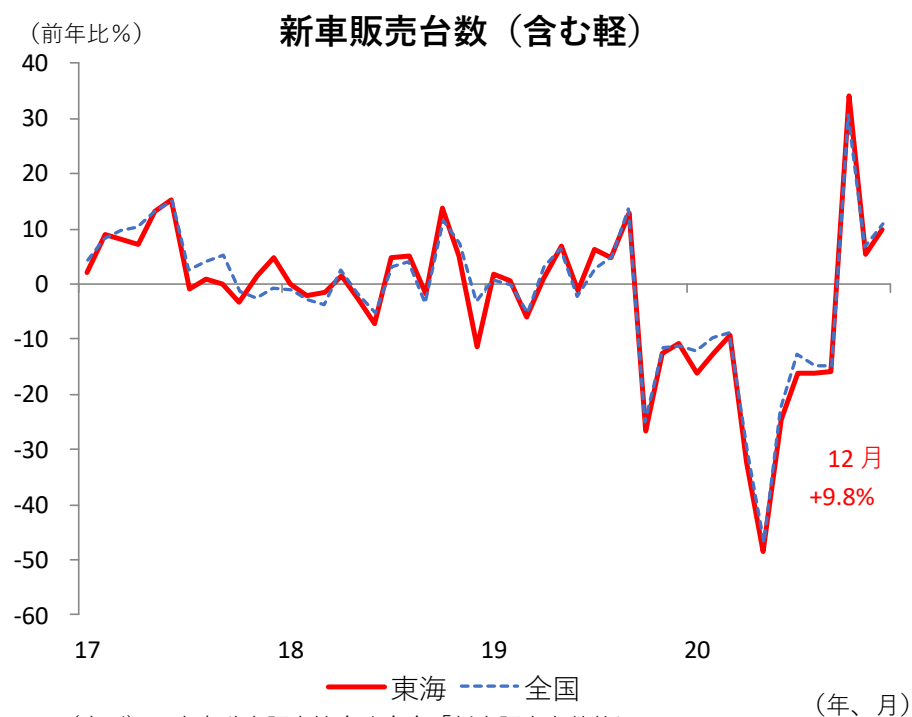
11月の小売販売額は前年比+3.9%と2ヶ月連続で増加した。前年が消費税引き上げ直後で高い伸びであった10月から伸び率は縮小した。

12月の新車販売は前年比+9.8%と3ヶ月連続で増加した。小型車は減少したが、普通車、軽自動車が2桁増となった。



(出所) 経済産業省「商業動態統計」

(注) 百貨店、スーパー、コンビニ、ドラッグストア、家電量販店、ホームセンターの合計



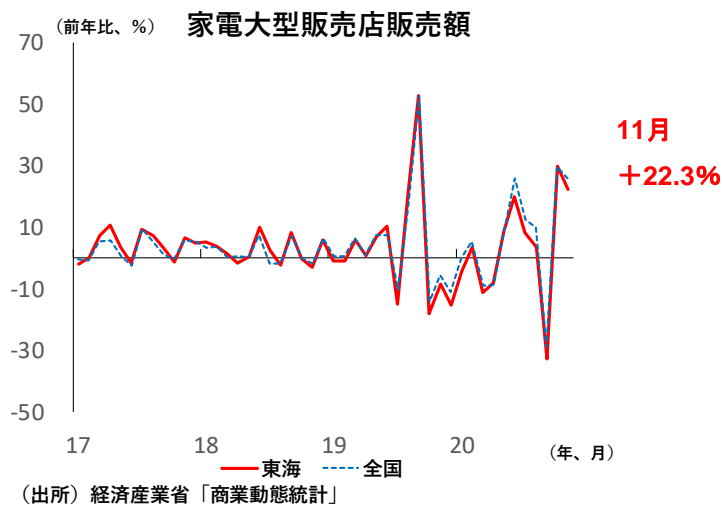
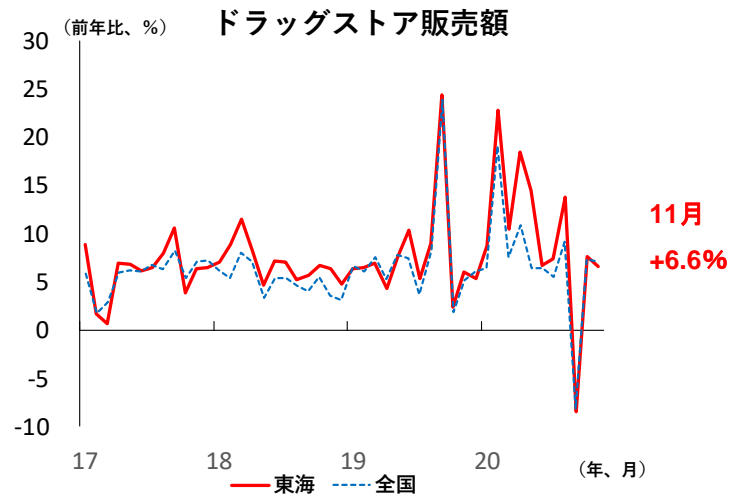
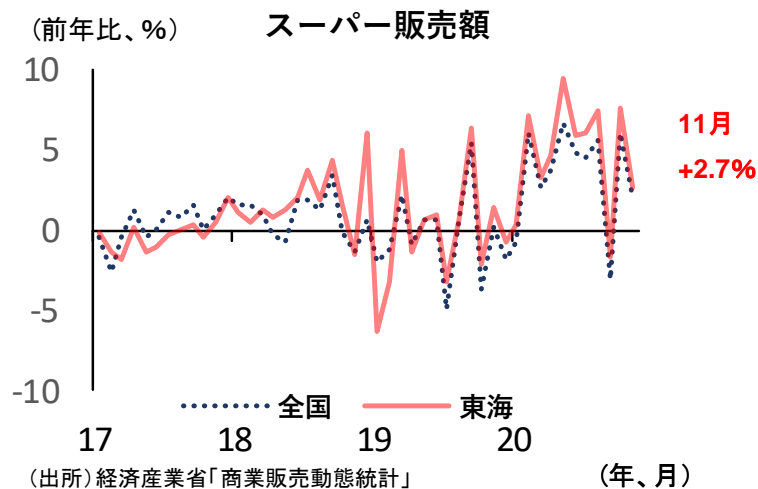
(出所) 日本自動車販売協会連合会「新車販売台数状況」

全国軽自動車協会連合会「軽四輪車新車販売」

個人消費(業態別)

11月の小売販売額は、百貨店、コンビニを除き、前年比で増加した。

12月の百貨店販売(名古屋)はコロナ感染再拡大などが影響し、前年比-11.4%と2ヶ月連続で減少した。



マインド・景況感

12月の消費者態度指数は30.4(前月差-0.6%pt)と2ヶ月連続で低下した。

12月の景気ウォッチャー調査(現状判断DI)は、新型コロナウイルス第3波の拡大が影響し、37.1(前月差-9.1%pt)と2ヶ月連続で低下、下げ幅も拡大した。



(注)東海の季節調整値はMURC試算

(出所)内閣府「消費動向調査」

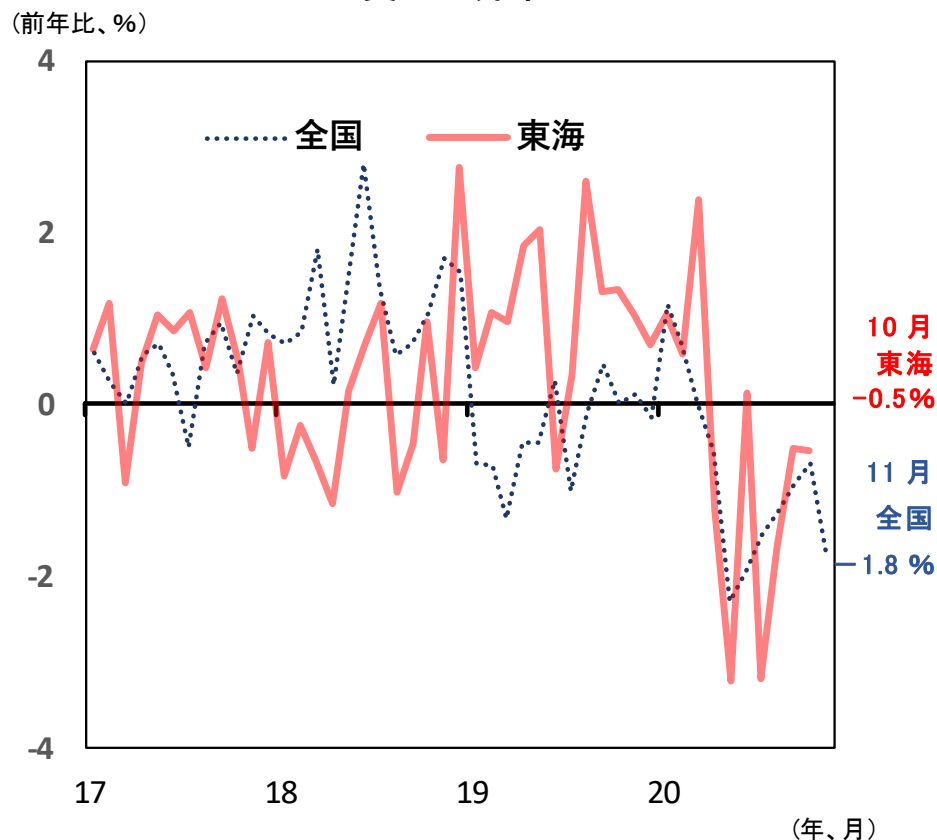


(出所)内閣府「景気ウォッチャー調査」

賃金・雇用

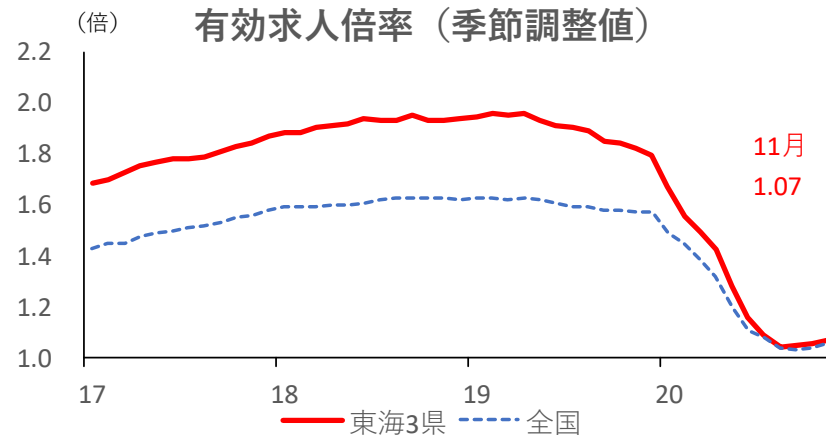
10月の名目賃金指数は、前年比-0.5%と4ヶ月連続で低下。愛知、三重が低下した(岐阜は変わらず)。11月の求人倍率は1.07と前月とほぼ同水準。20年第3四半期の失業率は2.7%と3四半期連続で上昇。就業者数はほぼ横ばいとなった。

賃金上昇率



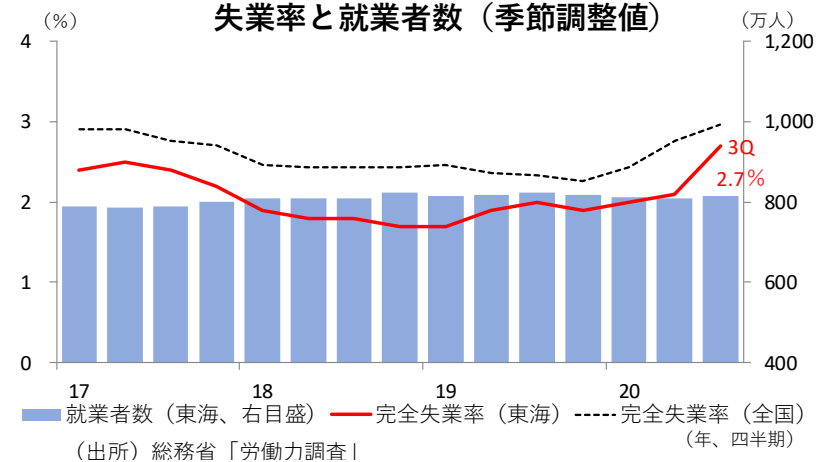
(出所) 名目賃金指数(所定内給与)、愛知、三重、岐阜の常用雇用者指数よりMURC作成

有効求人倍率 (季節調整値)



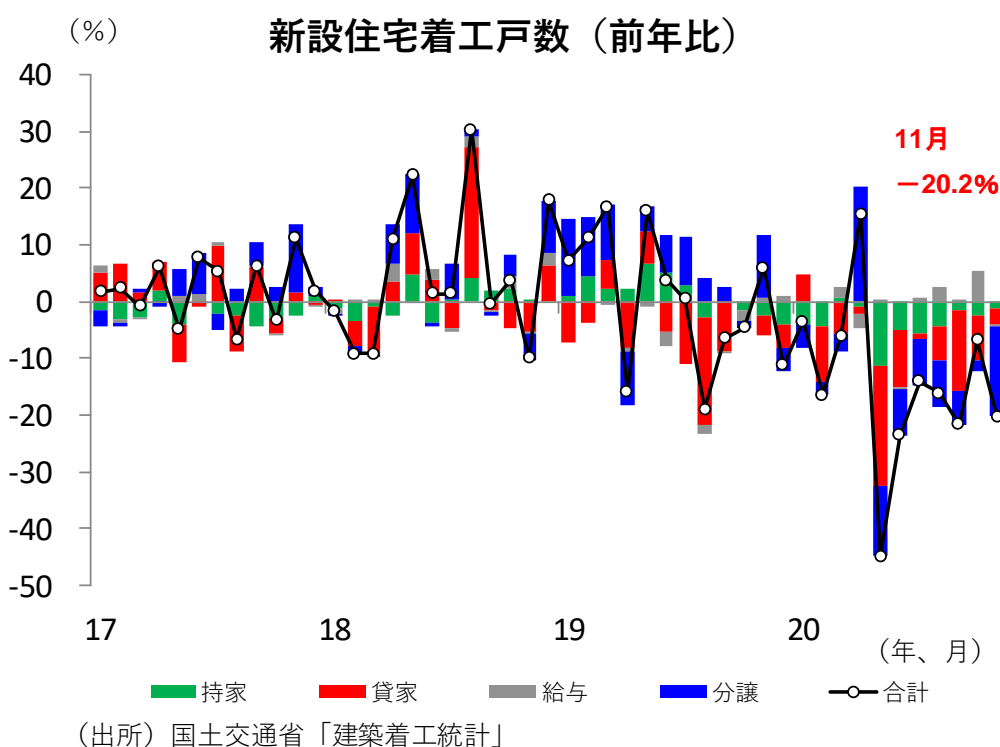
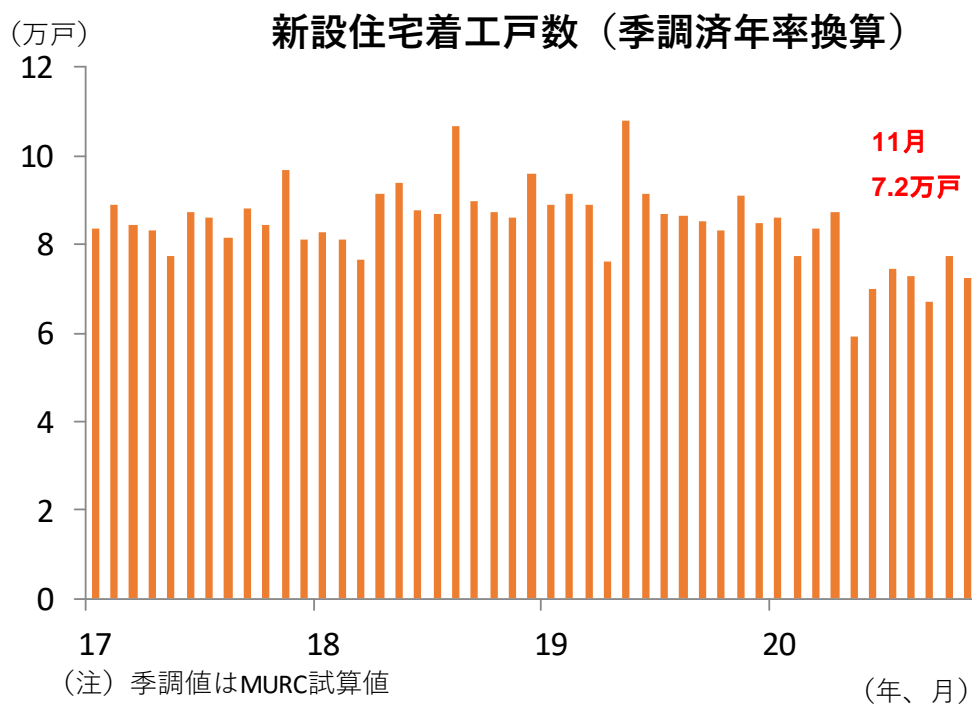
(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」

失業率と就業者数 (季節調整値)



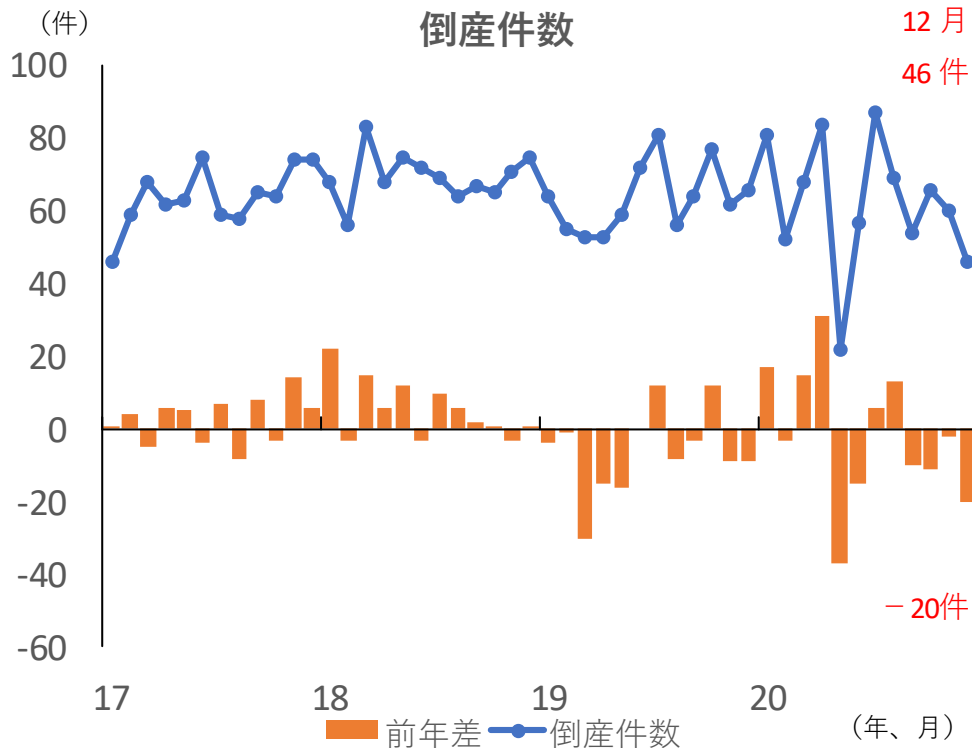
住宅投資

住宅着工は均してみると弱含み。11月は季調・年率で7.2万戸と2ヶ月ぶりに前月比で減少した。原数値では前年比-20.2%と大幅に減少。持家、貸家、分譲のいずれも減少した。



倒産

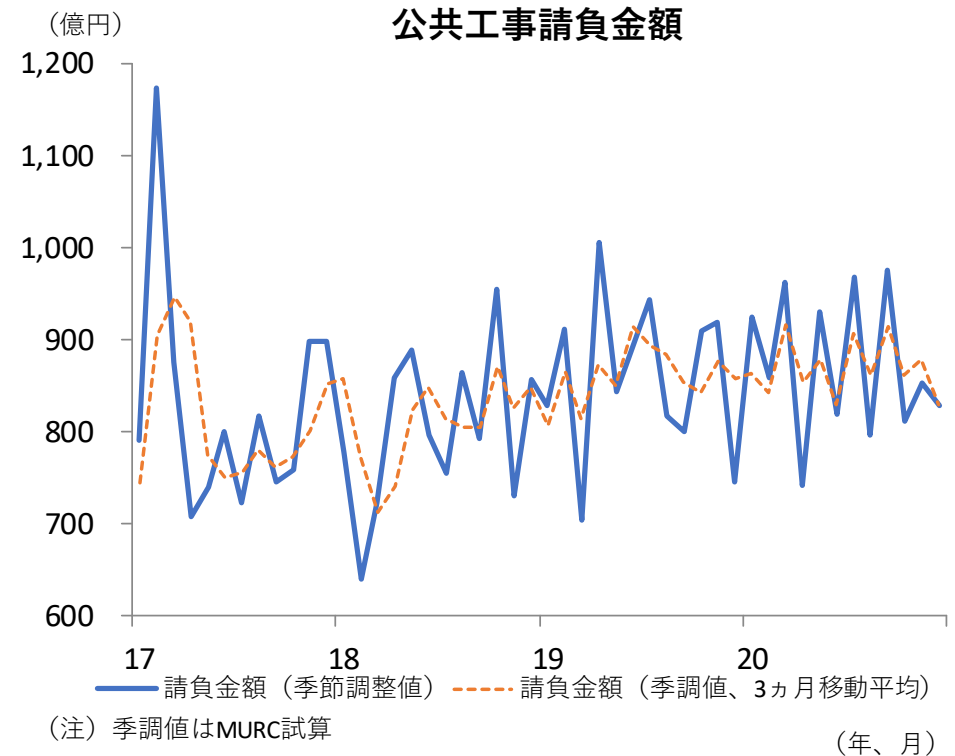
12月の倒産件数は前年比で4ヶ月連続で減少。
件数は、低めの水準で推移している。



(出所) 東京商工リサーチ「全国企業倒産状況」

公共投資

公共投資は横ばい圏で推移している。



ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 TEL:03-6733-1070 E-mail:chosa-report@murc.jp

〒108-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

－ ご利用に際して －

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください